

## 平成 29 年度協働事業の評価及び委員会意見

協働事業名	渡里湧水群の保全と活用		評価欄 <b>A</b>
協働事業者	渡里湧水群を活かす会	市担当課	環境課 公園緑地課 他
事業の概要	<p>本事業は、長者山風致地区北側崖下の湧水箇所、旧水路、あぜ道（認定外道路）、旧国道敷及び田野川の環境を整備し、台地上の歴史的遺産（台渡里官衙遺跡群等）と一体化して、歴史と自然が融合した地域をつくることを目的としている。</p> <p>平成 29 年度は、活動日である「湧水の日」（毎月第 2 日曜日）を中心に、会員、地域住民が協力し、継続的な湧水整備等を行った。</p> <p>また、ホタル池の整備を進め、ホタルの観察会や勉強会を実施した。</p>		
委員会意見	<p>3 年間の取組により、湧水群一帯の整備が進んだことについては、会員を中心に、様々な主体が連携・協力し、除草作業など、地道な整備活動によるものであった。</p> <p>今後については、本取組による成果をより多くの市民と共有していただくことも重要なことから、地域住民のみにとどまらず、積極的な広報活動も望まれるところである。</p> <p>また、ホタルの観察会についても、夜間の安全面に配慮しつつ、広域的な事業展開を図られたい。一方で、新たに見つかったトウキョウサンショウウオについては、日中でも観察可能なことから、子どもたちを対象とした観察会の開催など、活用を考えられたい。</p>		

協働事業名	初めてのママパパ応援事業		評価欄 <b>A</b>
協働事業者	あっとまま	市担当課	保健センター
事業の概要	<p>妊娠中の母親及びその夫に対し、不安な出産を「楽しみな子育て」に変えることを目的に、産後の体の変化や精神不安に陥りやすい不安をあらかじめ学習できる場及び妊婦が気軽に情報交換できる場として、「聞きたい！知りたい！マタニティ」（平成29年10月28日 桜川市民センター）を開催した。</p> <p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもができたらどう変わる？今から知っておきたいお金の話」</li> <li>・「生まれてくる赤ちゃんへ 手作りのプレゼント」</li> <li>・「教えて先輩ママ ～妊娠中にしておけばよかったこと、なんですか？～」</li> </ul>		
委員会意見	<p>事業実施にあたっては、自ら広告料を募るといった工夫が見られたほか、実施後のアンケート結果を見ても、満足度の高い評価が得られているだけに、今年度で終了してしまい残念である。</p> <p>しかしながら、本事業をきっかけとして、協働事業者と保健センターとの間で継続的な連携、協力関係が築けたことは、大きな成果といえる。今後その取組を確実に実行していただきたい。</p> <p>協働事業者が日常的に実施しているサロン活動は、大変貴重なものであり、行政からのPRなど積極的な支援が必要である。一方で、行政が窓口になる場合、市民活動の姿が見えづらくなることも懸念されることから、そうした点に配慮しつつ取り組んでいただきたい。</p> <p>今後も、妊娠中や子育て中の母親を孤立させない様々な支援が広がっていくことを期待したい。</p>		

協働事業名	外国人が買い物し易い商店街づくり		評価欄 <b>B</b>
協働事業者	グローバルフェスタいばらき実行委員会	市担当課	商工課
事業の概要	<p>本事業は、外国人が買い物し易い商店街づくりを進め、外国人と共生できるまちづくりにより、中心市街地の活性化を実現することを目的としている。</p> <p>平成 29 年度は、グローバルフェスタいばらき 2017in 水戸（平成 29 年 5 月 14 日）の開催や、水戸まちなかフェスティバル（平成 29 年 9 月 24 日）への出店を通じ、国際交流の場を提供した。</p> <p>また、多言語（英語、中国語、韓国語）による「外国の商品や料理が楽しめるMAP」を作成し、日本語学校や各大学留学生支援センター等へ配布した。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、外国人と共生できるまちづくりを進め、中心市街地の活性化の実現などを目指すものである。平成 29 年度をもって本制度による協働事業は終了するが、5月に実施される「グローバルフェスタいばらき」については、市民に対して、身近な国際交流、国際理解の場として貴重な機会であることから、今後もPRに努め、継続的な開催に取り組んでいただきたい。</p> <p>また、本事業では、「外国の商品や料理が楽しめるMAP」など、様々な印刷物を作成してきた。今後、作成の効果を検証するとともに、それらが、必要とする市民の手に届くよう、関係団体と連携、協力を図っていただきたい。一方で、行政もそうした市民活動の成果を、一元的に提供できるような仕組みづくりを検討していただきたい。</p>		

協働事業名	水戸ライフワークメイキング事業		評価欄 <b>B</b>
協働事業者	L i r k	市担当課	商工課
事業の概要	<p>本事業は、学生を中心とした参加者が、自ら自分の将来の生き方を考え、水戸で働く人たちをインタビューした動画を配信、共有することで、若者の「しごと」と「暮らし」の視点を複合させ、その両面を多様にデザインしながらキャリア形成を図っていく「生き方」を実現することを目的としている。</p> <p>主な実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACTION MEETING 水戸で暮らす働くことを考えるワークショップ</li> <li>・ 取材先の検討やインタビュー方法などのワークショップ</li> <li>・ 上映会</li> </ul>		
委員会意見	<p>本事業では、若い世代による新しい視点からの取組として、ワークショップやイベントなど、様々な趣向が感じられた。</p> <p>しかしながら、本来は、ワークショップや動画作成等といった手段により、地元に着目を持つ若者を増やしていくという目的であったが、その手段が目的化してしまった印象があった。</p> <p>学生たちのキャリアをデザインする力を養っていくには、長期的な取組が求められる。本事業が、今年度で終了してしまったことは、残念であるが、協働事業者の特性を生かし、引き続き、しっかりと当初の目的を明確にし、継続的に取り組まれていくことを期待したい。</p>		

協働事業名	水戸オーガニ蕎麦プロジェクト		評価欄 <b>B</b>
協働事業者	一般社団法人 茨城県健康生きがいつくり協議会	市担当課	農政課
事業の概要	<p>本事業は、水戸市内の遊休農地を有効活用し、農作業を通して多世代で共有する地域社会を実現することを目的としている。</p> <p>平成 29 年度は、8 月から 12 月にかけて、蕎麦栽培に関する一連の農作業（畑耕起～有機質肥料仕込み～種蒔き～土寄せ～刈取）を実施した。また、収穫祭を開催し、地元住民や福島からの避難者等との交流を図った。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、水戸市内の遊休農地を有効活用し、蕎麦栽培を通して多世代で共有する地域社会の実現を目指す興味深い試みである。本事業を通じ、福島からの避難者を地域に取り込もうとする活動は、他にあまりない取組であることから、より一層の充実を図り、住みよいまちづくりにつなげていただきたい。</p> <p>また、本来の事業の柱であるそば栽培についても、子どもたちとの交流の機会の充実や、地域で農業に興味を持った若い世代に対して、農業の楽しさを伝えるなど、地域に根付いた活動につなげていただきたい。</p>		

協働事業名	スマイルアースプロジェクト ～外国人も日本人も住みやすい地域をつくる～		評価欄 <b>A</b>
協働事業者	グローバルキグループと支える会	市担当課	文化交流課
事業の概要	<p>本事業は、外国人市民と日本人市民がお互いに理解を深めることで、住みやすい地域社会を作ることとを目的とし、異文化理解・共生に向けた交流イベント等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外国人子育てガイド」の作成</li> <li>・「スマイルアースフェスティバル」(平成29年8月27日 水戸芸術館)</li> <li>・「スマイルアースパーティ」(平成30年2月3日 国際交流センター)</li> <li>・広報紙「GLOBARAKI」の発行</li> </ul>		
委員会意見	<p>外国人市民が増加していくなか、生活に関する様々なニーズが求められており、外国人市民と日本人市民との共生に向けた本事業に対する期待は大きいといえる。</p> <p>平成29年度実施事業のうち、外国人からのアンケートを基に、子育てに関する情報を、外国人が中心となって作成した「外国人子育てガイド」は、大変貴重なものである。今後は、作成の効果の把握に努めていただきたい。また、子育てに関することは、多岐にわたり、様々な取組につながるものである。本取組を通じて、今後の活動の展開につなげていただきたい。</p> <p>外国人市民が自立して活動していくには、様々な困難があることから、協働事業者は、担い手の確保に努めるとともに、市担当課においても、関係機関との連絡調整など、継続的な支援を行っていただきたい。</p>		

協働事業名	谷中二十三夜尊骨董市販わり創出事業		評価欄 <b>B</b>
協働事業者	株式会社日宣メディックス	市担当課	観光課
事業の概要	<p>本事業は、保和苑を中心に、愛宕町から八幡町周辺の観光エリアの史跡・名所と連携し、骨董市を開催することで、地域の販わり創出につなげることを目的としている。</p> <p>平成 29 年度は、谷中二十三夜尊桂岸寺・保和苑において骨董・蚤の市「格の市」を 3 回（平成 29 年 10 月 14 日、12 月 9 日、平成 30 年 2 月 10 日）開催した（5 月は雨天中止）。会場では、骨董市のほか、ワークショップ、観光ボランティア「歴史アドバイザー水戸」によるロマンチックゾーンガイドツアーなどが行われた。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、骨董市の開催をきっかけにして、谷中二十三夜尊の販わりにつなげようという新しい試みであった。</p> <p>格の市開催に関するチラシや楽しみ方ガイドなど、作成された印刷物については、協働事業者の特性を生かした大変素晴らしいものである。今後も引き続き、それらを活用した事業 PR に努めていただきたい。</p> <p>格の市の開催にあたっては、骨董市単体ばかりでなく、歴史ガイドツアーの充実や、周辺商店街を巻き込んだ体験ブースや飲食物の提供など、より一層の充実が求められる。引き続き、地域住民や関係団体と連携を図り、様々な創意工夫により事業を進めていただき、本事業の発展に期待したい。</p>		

協働事業名	セカンドライフを考える～幸せシニアライフ講座～		評価欄 <b>A</b>
協働事業者	株式会社 I F P	市担当課	高齢福祉課
事業の概要	<p>本事業は、シニア世代がセカンドライフを計画するために必要な知識について学びながら、これまでの生き方を振り返り、これからの人生をよりよく生きるためのライフプランについて考えることを目的としている。</p> <p>平成 29 年度は、高齢者でも書きやすいよう工夫して作成したエンディングノートを用い、葬儀や相続、贈与、遺言などについて学ぶことのできる講座を開催した（計 8 回）。</p>		
委員会意見	<p>本事業は、平成 27 年度から 3 年間にわたり、協働事業者と市担当課との協議や連携のもと、受講者に満足度の高い講座を展開してきた。平成 29 年度をもって、本制度による協働事業は終了するが、本テーマは、広がりのあるものであることから、様々な分野や関係団体とのつながりをつくり、事業展開を図られたい。</p> <p>一方で、高齢化社会を迎えるなか、エンディングノートに関する市民のニーズは依然として高いことから、これまでの 3 年間で培われた信頼関係をもとに、引き続き市担当課においても、事業継続に向けた取組を期待したい。</p>		



## 評価過程・評価基準

### 【 評価過程 】

5月31日に実施された事業報告会において、協働事業の実績報告書をもとに、協働事業評価シートに沿って、事業の概要、利用者からの評価及び決算報告などについて、協働事業者と市の担当課から報告を受けた。また、協働事業者及び市の担当課に対して、委員による質疑応答を行った。

その後、全体での審議において、各委員の採点を合算し、評価した。また、今後事業を展開するにあたって、協働事業者と市の担当課とが更に協議を深めるべき事項について意見した。

### 【 評価基準 】

実績報告票及び協働事業評価シート並びに事業報告会をもとに、Plan（企画・計画段階）、Do（実行）、Check（評価）、Action（見直し）の4つの項目に沿って採点した。各委員の持ち点を20点とし、全委員の採点を合計した総合得点を評価の基礎とした。

また、今回の審査では、採点基準を次のように設けた。

☆ 各委員の1項目の評価（5点満点）×4項目×8人＝160点満点

			採点基準
A	評	価	120～160点
B	評	価	80～119点
C	評	価	40～79点
D	評	価	0～39点

### ☆ 審査項目及び審査の視点（20点満点）

審査項目	審査の視点	配点
1 P l a n (企画・計画段階)	① 事業目的を明確にし、協働する必要性について十分検討したか。 ② 協定書の内容は明確にしたか。 ③ 事業計画は双方協議して作成したか。	5
2 D o ( 実 行 )	① 事業の進捗を共有したか。 ② お互いに役割を果たしたか。 ③ 適切に進行管理できたか。 ④ 変更事項の協議を柔軟にできたか。	5
3 C h e c k ( 評 価 )	① 組織内部で事業を振り返ったか。 ② 受益者の評価を得られたか。 ③ 双方で事業を振り返ったか。	5
4 A c t i o n ( 見 直 し )	① 改善すべき点が明確になったか。 ② 改善方法は具体的か。	5